

## 防災行政無線 Q&A

### ① デジタルに切り替わるとどうなる？

→以前使用していたアナログ防災無線は使用できなくなります。

デジタル防災行政無線は津波浸水想定区域を対象に86基整備され、津波に関する情報やJアラートなどが放送されます。

### ② なぜ津波浸水想定区域のみを整備の対象としたのか。

→今後発生が危惧されております日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震では、津波により最大で6,300人の死者数が生じる被害予測が公表されておりますが、早期避難の実現で被害の軽減が見込まれていることから、津波に特化したものとし整備しております。

### ③ アナログ防災行政無線は使えないの？

→アナログ防災行政無線は使用できなくなりますが、町内放送などで用いる有線放送は令和9年度末まで使用できます。(使用を希望した町内会)ただし、整備工事の都合により、令和5年度中に有線放送設備の一部を撤去することとなります。一部町内会では町内放送ができなくなるケースもございますので、御了承いただきたいと思っております。

### ④ 今後の防災情報はどこから入手すれば良いの？

→災害情報伝達手段の5本の柱に基づき、「テレビ」「スマートフォンやパソコンといった情報端末」「ラジオ」「広報車」そして「防災行政無線」を活用し、皆様に情報をお届けしてまいります。

### ⑤ 山間部などの防災行政無線が設置されていない地域はどのように情報収集をすればよいか

→山間部や内陸部では大雨による土砂災害や洪水の危険がありますが、いずれも突発的に発生するものではなく、降り続ける雨量によって発生する危険性が増してきます。そのため、気象情報を収集し、災害情報伝達手段の5本の柱のうち、「テレビ」「ラジオ」「広報車」「スマートフォンやパソコンといった情報端末」を活用し、皆様に情報をお届けしてまいります。

### ⑥ 熊の目撃や行方不明者の情報は放送しないのか。

→デジタル防災行政無線での放送はしませんが、市公式LINE、防災かまふせメール、住民パスポートアプリ「むちゅぱ」などのツールにより情報発信いたします。